

令和5年度 イチオシ!の ICT 活用方法

教育委員会	大網白里市教育委員会
-------	------------

1. 小学校の学習における活用方法 (学校名: 増穂北小学校)

第1学年 算数科 ひき算(2)「カード並べと比較・共有を画面上で行う」
 目標: ひき算のカードの答えが同じになるものを順序よく並べ、並べ方のきまりを調べることができる。(思考力・判断力・表現力等)

メリット

①ひき算カード

- ・児童がカードを準備する必要がない。
⇒1人1人が考える時間を多く確保できる。
- ・机の上のカードが落ちたり、バラバラになったりすることがない。
⇒集中して活動に取り組める。

②並べ終えたカード

- ・間違えても何度も書き直したり、付箋の大きさを変えたりすることができる。
⇒児童が見付けたきまりをたくさん記入することができる。
- ・短時間で多くの意見を共有することができる。
⇒友達の見えを見て新しい発見を見出すことができる。

①と②に共通するメリット

- ・教師は画面上で児童の進捗を確認できる。
⇒個別指導を迅速に行うことができる。
- ・記録として端末に残すことができる。
⇒児童の成長やつまずきを追跡しやすい。
- ⇒児童は別日に再度挑戦したり、振り返りすることができる。

①ひき算カード

2	3	4	5	6	7	8	9
11-9	11-8	11-7	11-6	11-5	11-4	11-3	11-2
		12-8	12-7	12-6		12-4	12-3
							13-4
		17-8	17-9				
15-8	14-8	14-6	13-7	13-6	14-7	16-8	16-9
15-7	13-6	15-9	15-6	15-9	12-5	12-9	13-5

(自作のワークシート)

下にあるひき算カードを指で動かす。
 上の数と答えが同じになる式を並べる。

②並べ終えたカード

2	3	4	5	6	7	8	9
11-9	11-8	11-7	11-6	11-5	11-4	11-3	11-2
	11-9	12-8	12-7	12-6	12-5	12-4	12-3
		13-9	13-8	13-7	13-6	13-5	13-4
			14-9	14-8	14-7	14-6	14-5
			15-9	15-8	15-7	15-6	
				16-9	16-8	16-7	
					17-9	17-8	
							18-9

(自作のワークシート)

付箋を使って気付いたことをメモする。
 手書き入力を使うことで1年生でも入力することができる。

2. 中学校の学習における活用方法（学校名：増穂中学校）

第2学年 美術科『新商品ラベルデザイン開発部』

ペットボトル飲料と、そのラベルをデザインする。使用するツールは、スライド作成ソフトとイラスト描画ソフトのみ。限られた機能を最大限活用して、購買意欲をかき立てる魅力的なデザインを考える。描画キャンバスでイラストを描く際には、ペンの種類や色を微調整する作業、レイヤーを分けてより精緻な作品になるように指導した。また、スライド作成ソフトを活用する中で、商品名やキャッチコピー等を書き込む際に、フォントや配色、図形描画機能の活用について指導した。

生徒作品→

飲料の内容や商品名、セールスポイント等も具体的に考えてから制作する。イラストは全てイラスト描画ソフトでの手描き。紙に印刷、空のペットボトルに水を入れ水彩絵の具で着色。

